

暮らしの？

kurashi no hatena

ハテナ

憧れていた緑と川がある街に住みたいとIさん夫婦は兵庫県西宮市の夙川近くに新居を求めた。

新婚旅行で訪れたフィンランドで買い求め、Iさんが自ら10時間以上担いで帰った照明器具

後から付け足す楽しさ

など、お気に入りの家具に合う部屋を探していくと、新築より、思い通りにデザインできるリノベーションにたどり着いたという。

「本棚などの大型収納はできるだけ作り付けにせず、シン

ルな部屋にしました。家具を足していく楽しみもあるので、後で何かを加えられる余地を残したかった」

白い壁や白い床、薄い茶色のフローリングなど、部屋全体があとから色を足しやすい明るく

さっぱりとした印象になった。

「リノベーションしてよかったと思えることは、夫婦2人で細部にわたって考えたアイデアが形になって、それが実際に生活に役立っていることですね」
マンションの風通りをよくす

リノベしました



兵庫県西宮市 築36年

部屋を仕切る壁に窓をつけ、風通りをよくする工夫を施した

るために、部屋と部屋を仕切る壁に窓をつけようと夫婦で話し合った。窓を開けると東西にある窓から風がさっとマンション全室に吹き抜けていく。
もともと6畳の和室と6畳の洋室だった部屋をリノベーションでつなげて、広いリビングに。「後から何か加えていけたら」とシンプルな作りにした。今年6月に、子供の誕生を控えたIさん夫妻。そこに、新しく子供の居場所ができるのかもしれない。

昭和53年築のマンション。専有面積は約76平方メートル。リノベーション費用約1000万円。

「リノベーション(リノベ)」とは、既存の建物を大規模改修し、価値を高めること